



刊夕日六十二月一十

**教育費の膨張は當然**

貴族院議員 澤柳政太郎

財政上の見地からして教育費は中央地方を通じて可成り重き負担となつてを、殊に地方財政上教育費は主要なる部分を占めてを、而して一方財政難の聲は頻々に起り義務教育費、國庫負擔金増額の問題が農村振興などの問題と共に政界の喧ましい問題となつてを、即ち我國は國民教育の施設の爲めには相當努力してをることには勿論で義務教育の普及の點に於ては歐米先進國

をも凌駕せんとするの勢ひを示してを、又中等、高等の教育機關も可成りの數に達してを、茲に於て或る論者は教育機關を充實して國民教育の普及を圖ることは洵に結構ではあるが今日の我が財政状態に於ては最早極度の膨張である、加之國民教育の目的は今日の程度に於て十分であつて此の上増加するとは反つて弊害を伴ふものであるといふが併し今日實際の有様を見るに一方に於ては斯の如く教育機關は十分であるといふにも拘らず他の一方に於ては年々多數の入學難に陥れるものを出してをる

既に入學試験を受けてさへ入學し能はざるものが多數あるといふ以上中學なり高等の學校なりに入學を志望しても種々の事情からして入學試験すら受くるもの出なない少青年の數は極めて多數にのぼつてをるといふねばならない (つゞく)

**一冊の代金で御希望通りの自由な五冊の雑誌が自由に読める**

川崎巡回文庫

(申込次第規則書進呈)

**正札堂**

の製品を召せ給  
に目下格安品豊  
富に取揃へ申候

期節向既製品は  
定評ある……

平町四丁目  
**會田時計店**  
電話三三三番

**町平 町屋新 吉田眼科醫院**

**特約店**

同津本町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町
同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町
同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町
同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町
同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町	同小川町

**本舖** 福島縣石城郡神谷村大字田岸七番地 **鈴木銀太郎**

廿六日より上映

月形龍之助。マキノ輝子主 演

**解決 修羅八荒**

前後十四巻上巻

青森歌田園大志詩  
松本泰助、歌川八重子、里見明共演

悲劇 受難の人々 卷六

帝キネ声屋努力作品  
百々之助と競ふ可く中村小福入社第一回作

権八の最後 義勇 篇全  
尾上紋十郎、千草香子助 演

大帝キネ 有聲座  
直 營

生新激瀾の氣漲る新譜到音 致しました

レコードの御用は  
親田第一の弊店へ

**謝恩賣出し**

二十五日より四日間

「日常勉強」を標語として開業七週年を迎へいさゝか廉賣して眷顧多年の御厚志に酬はんとす

種類	牛肉	豚肉
ヒレ	八十錢	七十錢
ロース	六十錢	六十錢
ヒール	四十錢	五十錢
並肉	四十錢	

田町 三二二二三屋 (電話三二三番)

**三井呉服店の大賣出し**

十一月二十七日ヨリ五日間

冬物の御仕度は今!!

米綿の大暴落は反物の底値段

赤木綿	金五十八錢	錦紗小紋	金十五圓均一
木綿裏地	金六十八錢	絛	金五圓五拾錢
正花裏地	金八十五錢	高貴織	金六圓五十錢
手拭上等	金六十錢	甲斐絹羽裏	金二圓也
正紺織	金八十五錢	縮絹江戶襪	金二十五圓也
正紺織	金一圓半錢	京都別染	金拾五圓也
ボーセキ紆	金一圓半錢	七五三御祝書	金拾五圓也
着尺モス	金三圓半錢均一	友仙縮緬	金拾五圓也
毛糸上太一	金二十八錢	尺三九帶	金五圓也
絹天足袋白	金二十五錢	特價品各種豐富取揃申候	

奉仕兵隊旗御入用の方へは書記無料

**磐城病院**

内科。外科。婦人科。小兒科。花柳病科。

平町田町本通り  
入院隨時(電話二二四番)

**冬服新着**

◇新しい品新しい型冬服が澤山揃へました  
◇値段は昨年の二割乃至一割半安の下記の通りです

<b>脊廣三ツ組</b>	
紺黒サーツ	1.78圓ヨリ
同	2.67圓マテ
◇メルトノ類	1.5圓位ヨリ
同	2.23圓マテ
◇スコツノ類	2.34圓位

<b>詰襟上下組</b>	
紺黒サーツ	1.1圓位ヨリ
同	2.0圓位マテ
◇メルトノ類	1.4.5圓位

其他種々冬物取揃へました

なかや洋服店 電話三〇三

### 電報を打ち々々

#### 抱主を安心させて

##### 逃げた美人酌婦

###### 抱主はロアングリ

###### 背後には社會主義者

平町銀治町の飲食店角花(元日の出)事伊藤ナツエ方に本年六月下旬頃から酌婦に住み込んだ東京市本郷區森川町生れ大橋アイ(七)は可成りの美人にて仲々に評判が高し、爲めに惱まされた遊野郎の數も少くなかつた模様である、殊に此女は一つ橋の女子職業學校を出たとか出ないとかで讀み書きが達者ばかりか口前が上手五尺の男子たるもの何條以つてたまるべき大いはいは

コロリで あつたさうだ、處が此女が去る九月廿八日漂然と恰も風の様に其姿を平町から消し去つた云ふ迄もなく逃げたんだ、抱主は青くなつて心當りを探し廻つたが未だに行方知れずで此不景氣に八百數十圓の借金はマンマと踏み倒され

頭痛鉢巻 きの体よろしくとは氣の毒千萬、大分前置きが長くなつたが此女を茲に引ッ張り出した所以のもの外でもない、其逃走するに當つての好妙な手段が頗る興味を唆つて餘りある計りに此女の爲めに斯くは貴重なる紙面を埋めねばならぬ次第と

配達され た電文は『モウソツケナシ、イヅレソウチ』茲に於てか抱主愕然、始めてシテやられた事に氣が附いて立ち上つた時は既に遅そく、再びドシーンと尻餅をついたとは無理もない、一説には内縁の亭主と云ふのが相當に名の知られた

社會主義 者で逃げるとにも勿論しめし合せての事だといふ

### 町營住宅

#### 本日役場にて

平町に於ける町營住宅建設の件に關し本日午後一時より役場内に町是調査會を開

### 平町の戸數割増す

#### 一戸平均四圓四十錢

平町の縣稅後期戸數割の賦課額は縣から郡廢や水害復舊のため二回にわたり追加配當あり前期より四割三分二厘を増し二萬二百五十一圓八十六錢となり一戸平均四圓三十六錢五厘となつたため所得一圓に付三十八錢一六七住家一坪に付四錢五厘一三八の課率となり来る十二月二日町會招集の筈

### 運轉事故

#### 近く表彰さる

常盤線平機關庫は十五年二月廿三日より九月十四日迄運轉事故に依るけんん責以上の處分を受けた者絶無にして繼續六十一萬哩に達したため福富東京鐵道局長から表彰さるゝ事に決定した



大根の信田巻

油揚を縦二つに切り、大根を七八分の厚さに切りこれを横に皮をむき薄くつながらやうにかつらむきに切つ

### 食用蛙來る

#### 分場へ五百疋

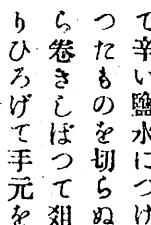
石城郡農事試驗分場では過般來農林省に對して食用蛙無償交付方を申請中であつたが廿五日五百疋交付の指令に接したので來月上旬滋賀縣水産試驗場に人を派し受取ることに決定した從來同場での食用蛙飼養はいづれも失敗に歸したに鑑み今回は合理的飼育を行ひ收支の状況を調査するとなつた

### 小名濱の困窮

石城郡の小名濱、江名、玉川泉の二町二ヶ村聯合秋期消防檢閲は二十四日午前十時から小名濱町小學校庭に舉行平署からは檉村署長以下係官數名臨席定刻午前十時から人員點呼服裝檢閲あり教練を行ひ機械器具をなし終つて檉村署長の講評に次いで小名濱組頭小濱長太郎氏の答辭あり直に同町警城座で慰安會を開き正午散會したが頗る好成績であつた

### 山出費経減

木炭の需要期に入つたので當業者は何れも多忙を極めて居るが此木炭は山間に於いて製する關係上運搬費其他の莫大な爲め年々高値を唱ふるばかりで本縣産の如きは東郡市場に於て他縣産出の木炭價に比し高價な爲め取引頗る不調なので縣當局でも此等木炭の生産費を節約し森林に依る收入を増進すべく種々研究中にある



祝着の

仕度に取りかゝつたやうですがこれにお金をかける事は年々衰へて行くやうです、とは申せ可愛いお子さんの事ですから自分の着る物を着ないでもこれには比較的お金をかけます、多いのは矢張モスリンで次は錦仙、錦紗は數へる位です、それに

### 平町人事

- ▲出生
  - △立町一〇三 丹野政吉氏長男政一
  - △長橋町八三 瓶登(一三)
  - △白銀町一四 木時ミサ(二七)
  - △十五丁目一〇 谷島なを(二五)
  - △古鍛冶町七 大道トミ(六二)
  - △南町三五 安齊ヤエ(三三)
  - △南町五一 根本ヨネ(四八)
  - △月見町二七 平武雄(二二)
  - △鎌田町一 大槻しよ(四四)
  - △手摺一四 徳光達之(二二)
  - △堂の前一六 高田安太郎(六九)
  - △立町四三 木村政三(一三)
  - △鎌田町二七 瀧田ハナ子(二二)
- ▲死亡
  - △立町一〇三 丹野政吉氏長男政一

### 金目の物が出ず

#### 實用向きが増加

##### 子供服流行にも崇られて

###### 呉服屋さんの苦心

平町地方の呉服屋さんも近年は大分販賣政策と客の吸收に苦心するやうになつた殊に生活改善、勤儉貯蓄不景氣といふおそろしい敵が相次いで襲ひ來たのでその苦心は並大體でない、最近

平地方の一般状況 について某店主の談をきくとかうである『昔も今も殊に農村労働階級に變化しない實用一方向きの需要品は遠州綿で各品を通じ量の多

### 祝着の

仕度に取りかゝつたやうですがこれにお金をかける事は年々衰へて行くやうです、とは申せ可愛いお子さんの事ですから自分の着る物を着ないでもこれには比較的お金をかけます、多いのは矢張モスリンで次は錦仙、錦紗は數へる位です、それに

最近の子供服が非 常の勢ひで流行して來たので呉服屋はまた敵が一つふたつ譯です、要するに平地方の呉服屋は割のよい贅譯品の賣れ行きが減つて一般に實用向きのものが増加しそれも相手がなるべく買ひ掛へるといふ有様にあ

### 山出費経減

木炭の需要期に入つたので當業者は何れも多忙を極めて居るが此木炭は山間に於いて製する關係上運搬費其他の莫大な爲め年々高値を唱ふるばかりで本縣産の如きは東郡市場に於て他縣産出の木炭價に比し高價な爲め取引頗る不調なので縣當局でも此等木炭の生産費を節約し森林に依る收入を増進すべく種々研究中にある

### 平町人事

- ▲出生
  - △立町一〇三 丹野政吉氏長男政一
  - △長橋町八三 瓶登(一三)
  - △白銀町一四 木時ミサ(二七)
  - △十五丁目一〇 谷島なを(二五)
  - △古鍛冶町七 大道トミ(六二)
  - △南町三五 安齊ヤエ(三三)
  - △南町五一 根本ヨネ(四八)
  - △月見町二七 平武雄(二二)
  - △鎌田町一 大槻しよ(四四)
  - △手摺一四 徳光達之(二二)
  - △堂の前一六 高田安太郎(六九)
  - △立町四三 木村政三(一三)
  - △鎌田町二七 瀧田ハナ子(二二)
- ▲死亡
  - △立町一〇三 丹野政吉氏長男政一